

部長	室長	課長	副課長	係長	係

作成者 (所属) スポーツ振興 課  
(氏名) 藤枝 佑一朗

### 平成28年度 施設管理運営事業評価票

#### 1 評価対象施設

公の施設の名称	宝塚市立高司グラウンド				
所在地	宝塚市高司4丁目92番1				
指定管理者	団体名	(公財)宝塚市スポーツ振興公社		開始日	平成26年 4月 1日
	所在地	宝塚市小浜1丁目1番11号		終了日	平成31年 3月 31日
選定方法	公募		評価実施年	指定期間 5年のうち 2年目	
施設設置目的	青少年の心身の発育並びに住民の体育・スポーツの振興を図ることにより、心身ともに健全な青少年、住民の育成に寄与することを目的とする。				
主な実施事業	①健康保持のための教室及び各種スポーツ教室の開催 ②社会体育施設の管理運営の受託事業 ③健康・スポーツに関する調査研究及び情報提供 ④その他目的を達成するために必要な事業				

#### 2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用人数	千人	30	17	30	18	30	16	30	27
b 施設利用率	%	65	48	65	49	65	50	65	47
c									
d									
e									

\*平成25年度までスポーツセンター、末広体育館、高司グラウンドの3施設共通で協定を締結していたため、高司グラウンドの実績はスポーツセンター及び末広体育館における施設管理運営事業評価票に含んでいる。

#### 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区分	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度決算	平成28年度 予算
収入計 A			9,918	9,942	10,393
指定管理料			6,694	6,692	6,692
利用料収入 C			3,224	3,115	3,088
自主事業収入			0	0	0
その他			0	135	613
支出計 B			8,963	9,441	10,393
指定事業費			8,963	9,396	10,215
内、人件費 D			2,138	2,202	2,140
内、再委託料 E			3,270	3,270	3,300
自主事業費			0	45	178
事業収支 A-B			955	501	0
利用率金比率 C/A			32.5% %	31.3% %	29.7% %
人件費率 D/B			23.9% %	23.3% %	20.6% %
再委託費比率 E/B			36.5% %	34.6% %	31.8% %

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。

・着色セルは、自動計算としている。

・事業費は、前年度以前の決算を記載する。また、最右欄には、今年度予算を記載する。

補足説明	*平成25年度までスポーツセンター、末広体育館、高司グラウンドの3施設共通で協定を締結していたため、高司グラウンドの収支状況はスポーツセンター及び末広体育館に含んでいる。
------	---

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
①サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	A	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	A	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	A	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守しているか。	A	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	A	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされているか。	A	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A	A
②サービスの質の評価	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A	A
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	B
	③安定性	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A
		事故防止及び安全確保のために必要に対策を講じている。	A	A
利用者対応		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	A
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A	B
事業運営		事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	B
		施設の目的に添った自主事業を実施している。	A	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	B
維持管理		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	A
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	A	A
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	A	B	
	協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	B	
広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A	
苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A	
	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	A	B	
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	B	
利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	B	B	
《 総括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	B	
指定管理者所見 (成果、課題等)	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A
	《 総括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設 項目】	A	B
施設所管課所見 (成果、課題等)	指定管理者所見 (成果、課題等)	施設管理面については、利用者の安心・安全を第一に、公社独自の予算でも施設修理等に対応している。その成果があり、大きな事故もなく、利用者の安全を確保できている。また、管理費等の節減や自主事業の拡大により、公社経営の安定化を図り単年度黒字決算を維持している。今後とも、安全・安心・快適で「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」続けることができるスポーツ及びレクリエーション施設として市民に愛される施設運営を目指していく。		
	施設所管課所見 (成果、課題等)	予算執行状況においては、経費の節減により、昨年に引き続き黒字決算である。また、平成27年度より小学生から高校生までを対象としたラクロス教室を受講料無料で開催しており、スポーツ振興を図っていることは評価できる。 施設の管理としては、利用者の安全管理に重点を置き、日々の施設設備等の補修を指定管理者により適宜行っており、施設の適切な維持管理を行っていると評価できる。		
前年評価	B	総合評価	B	

## ※評価区分

評価基準:	A (優良) = 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	B (良好) = 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C (要改善) = 協定書、仕様書等に定める要求水準を満足していない。
《総括》:	A (優良) = 評価基準項目が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B (良好) = 優良、要改善以外の評価
	C (要改善) = 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価:	A (優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B (良好) = 優良、要改善以外の評価
	C (要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。